

きゅうしよくだより

令和7(2025)年1月号
おおさかしりつたつみしょうがっこう
大阪市立 異 小学校

全国学校給食週間について考えよう

新しい年をむかえました。

今年もおいしくて栄養満点な給食を楽しみにしてくださいね。

1月24日から30日までは、「全国学校給食週間」です。

給食の意味や役割について考えてみましょう。

給食の歴史を見てみよう！



明治22年

ごはん、塩さけ、なのつけもの

学校給食のはじまり。



昭和25年

コッペパン、脱脂粉乳、みそ汁

大阪市すべての小学校で給食がはじまりました。



昭和56年

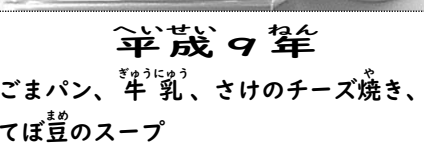
カレーライス、牛乳、ミニフィッシュ（袋入り）

米飯給食がはじまりました。



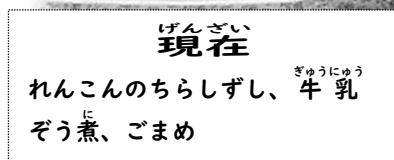
行事こんだてや

いろいろなこんだてが登場しています。



平成9年

ごまパン、牛乳、さけのチーズ焼き、てば豆のスープ



現在

れんこんのちらしずし、牛乳、ぞう煮、ごまめ

*サンプル写真は大阪市学校給食協会HP、
独立行政法人日本スポーツ振興センターより

1月のこんだてより

10日(金) れんこんのちらしずし【きざみのり】、ぞう煮、ごまめ
正月の行事献立です。

ごまめは「田作り」ともいいます。「田んぼや畑で
たくさん収穫できますように」という願いが込められています。



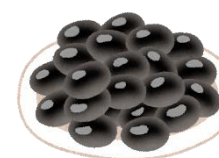
21日(火) くりきんとん

きんとんは漢字で「金団」と書き、黄金に見立てて
「今年も豊かな生活が送れますように」という願いが込められています。



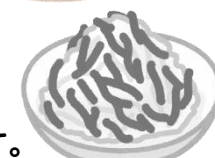
23日(木) 黒豆の煮もの

「まめに(まじめに)働き、健康に暮らせますように」
という願いが込められています。



27日(月) 紅白なます

にんじんとだいこんで、お祝いの色の紅白を表しています。



学校給食は、明治22年にはじまりました。各地に広がって
いきましたが、戦争のため中断されました。
戦争が終わった後、日本は食べ物が不足し、子どもたちの栄養
状態も悪くなりました。子どもたちがおなかを空かせていること
を知った外国から脱脂粉乳などの物資が寄付され、給食が再開
しました。

給食が再開した12月24日を「学校給食感謝の日」と定
めました。冬休みなので、一か月後の1月24日から30日
を「全国学校給食週間」としました。

現在は豊かになった日本ですが、この一週間はとくに食べ物に
感謝し、給食のことを考える一週間にしましょう。